

ひょうごらくのうメモ

平成29年12月号

おいしいね 兵庫の牛乳 もう一本！



挿絵提供 題名 “ くさをたべるうしさん ” 藤井 あげは 7才
(川西市)

目次 (第34回らくのうひょうごフェスティバル応募作品)

1	生乳動向 (累計)
2	行事メモ 29年12月
3	計画生産推進一覧表《29年度11月》
4	用途別販売成績《29年度11月》
5	生乳検査実績速報《29年度11月》
6	淡路家畜市場情報《29年度11月》
7	隣県家畜市場情報《29年度11月》
8	北海道産牛価格情勢《29年度11月》
9	北海道乳牛産地情報《29年度11月》
10	牛群成績平均情報《29年度11月》
11	乳用牛改良情報《29年度11月》
12	輸入粗飼料の情勢《29年度11月》
13	“酪農家の皆様へ” 加工原料乳生産者補給金制度移行 (近畿生乳販連より)

酪農メモ

平成29年12月
兵庫県酪農協

報告

1. 生乳生産量の動き（全国）・・・（平成29年11月・牛乳乳製品統計）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成29年 4月	616.7	97.8
平成29年 5月	645.2	98.8
平成29年 6月	614.5	98.1
平成29年 7月	610.2	96.7
平成29年 8月	600.5	98.4
平成29年 9月	580.7	99.2
平成29年10月	600.7	100.0
平成29年11月	582.6	100.6
平成29年12月		
平成30年 1月		
平成30年 2月		
平成30年 3月		
平成29年度累計	4851.1	98.7

2. 生乳計画生産推進の状況（兵庫県酪連扱い分・公共施設を除く）

（平成29年11月・前年より227.5トンの減、・9管内中前年より増加は無し）

	計画生産対象数量（kg）	対前年比（%）	対前々年比（%）	戸数（戸）
平成29年 4月	7,179,451	97.6	94.7	279
平成29年 5月	7,364,546	98.5	96.4	278
平成29年 6月	6,894,142	99.3	97.3	278
平成29年 7月	6,611,755	96.6	94.4	278
平成29年 8月	6,297,029	96.2	93.8	276
平成29年 9月	6,308,307	97.8	95.9	274
平成29年10月	6,495,673	97.9	96.2	274
平成29年11月	6,277,764	96.5	93.7	274
平成29年12月				
平成30年 1月				
平成30年 2月				
平成30年 3月				
平成29年度累計	53,428,667	97.6	95.3	274

3. 行事メモ <平成29年12月>

◆ 12月 4日 理事会（第12回）

- | | |
|------|-------------------------|
| 報告事項 | 1) 平成29年度生乳計画生産進捗状況について |
| 協議事項 | 1) 平成29年度上期仮決算状況について |
| | 2) 冬期賞与支給について |
| | 3) 地区別懇談会・説明会について |
| | 4) 組合員加入申込みの承認について |
| | 5) 組合員の出資口数減少請求について |

6) 台風被害の災害見舞金について

- ◆ 12月20日 淡路地区別懇談会 淡路島牧場
 - 21日 阪神・播州地区別懇談会 小野市エクラ
 - 22日 丹但地区別懇談会 和田山庁舎
- 説明事項
- 1) 畜安法改正に伴う内容について
 - 2) 平成29年度上期決算状況について
 - 3) 分裂以降の組合運営について
 - 4) その他

4. 行事予定<平成30年1月>

- 1月 4日 仕事始め
- 5日 兵庫県ホルスタイン改良協議会役員会 (淡路事業所)
- 15日 第55回淡路農林水産祭 (淡路市伊弉諾神宮)
- 17日 平成29年度後期牛群審査・体型調査 (淡路側) ~19日
- 20日 // (本州側) ~22日

● 1月精液配布コース予定日

10日淡路コース 16日西播コース 23日東播コース 30日丹波コース

平成29年度11月用途別販売実績（速報）

平成29年12月15日
一般社団法人 中央酪農会議

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	11月		4-11月累計		指定団体	11月		4-11月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	303,938	102.4 (102.6)	2,531,432	99.1 (99.2)	北海道	303,938	102.4	2,531,432	99.1
青森	4,979	99.5	40,700	97.9					
岩手	15,584	98.2	131,029	97.7					
宮城	9,108	100.2	76,825	100.1					
秋田	2,008	95.0	17,158	93.8					
山形	4,819	97.5	41,086	97.1					
福島	5,415	99.2	45,503	96.9					
東北生乳販連	41,912	98.7	352,301	97.8	東北生乳販連	41,912	98.7	352,298	97.8
茨城	13,048	104.1	109,157	104.2					
栃木	25,390	98.2	214,535	99.4					
群馬	15,782	95.9	135,042	96.9					
埼玉	4,235	96.4	36,083	97.2					
千葉	16,192	95.9	136,379	97.7					
東京	736	94.6	6,349	97.0					
神奈川	2,651	94.8	23,225	96.0					
山梨	972	101.6	7,959	98.6					
静岡	6,824	98.8	57,245	99.2					
関東生乳販連	85,830	98.0	725,973	99.0	関東生乳販連	85,830	98.0	725,973	99.0
新潟	3,484	96.6	29,514	95.4					
富山	880	92.8	7,457	91.7					
石川	1,566	98.8	12,889	94.4					
福井	432	93.2	3,653	93.0					
北陸酪連	6,363	96.3	53,514	94.5	北陸酪連	6,363	96.3	53,514	94.5
長野	7,542	96.1	62,452	95.2					
岐阜	2,883	96.3	24,269	96.2					
愛知	13,710	97.1	114,662	96.7					
三重	4,285	102.2	35,191	101.7					
東海酪連	28,420	97.5	236,573	97.0	東海酪連	28,420	97.5	236,573	97.0
滋賀	1,427	94.3	12,239	96.7					
京都	1,489	90.1	12,491	89.8					
大阪	751	100.7	6,269	97.2					
兵庫	6,278	96.5	53,429	97.6					
奈良	1,851	94.3	15,909	94.7					
和歌山	378	97.0	3,309	101.2					
近畿生乳販連	12,174	95.3	103,645	96.1	近畿生乳販連	12,174	95.3	103,645	96.1
鳥取	4,445	99.2	36,760	99.7					
島根	5,274	98.5	42,987	97.5					
岡山	7,111	99.3	57,956	95.8					
広島	3,711	97.2	31,152	97.6					
山口	1,198	92.1	10,090	95.1					
中国生乳販連	21,740	98.3	178,945	97.3	中国生乳販連	21,740	98.3	178,945	97.3
徳島	2,395	96.4	20,149	97.1					
香川	2,832	101.2	23,580	100.7					
愛媛	2,137	95.6	18,059	94.8					
高知	1,617	92.5	13,799	95.3					
四国生乳販連	8,981	96.9	75,587	97.3	四国生乳販連	8,981	96.9	75,587	97.3
福岡	6,050	98.4	49,732	96.5					
佐賀	1,125	90.4	9,244	91.1					
長崎	3,001	95.6	25,707	96.9					
熊本	19,236	99.3	159,029	98.9					
大分	5,354	94.5	44,586	94.3					
宮崎	5,971	95.6	50,116	95.0					
鹿児島	6,590	99.6	54,850	96.5					
九州生乳販連	47,328	97.7	393,264	96.9	九州生乳販連	47,328	97.7	393,264	96.9
都府県	252,747	97.8	2,119,803	97.7	都府県	252,747	97.8	2,119,800	97.7
合計	556,686	100.3 (100.4)	4,651,234	98.5 (98.5)	合計	556,686	100.3	4,651,231	98.5

注) この速報は、キロ (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比

注3) 今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

3) 飲用牛乳向

4) はっ酵乳等向

指定団体	11月		4-11月累計		指定団体	11月		4-11月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	70,992	-	584,377	-	北海道	1,715	-	13,844	-
東北生乳販連	32,775	-	265,742	-	東北生乳販連	6,209	-	55,448	-
関東生乳販連	68,249	-	560,246	-	関東生乳販連	12,136	-	105,308	-
北陸酪連	6,063	-	50,720	-	北陸酪連	233	-	2,066	-
東海酪連	23,591	-	194,518	-	東海酪連	4,062	-	34,850	-
近畿生乳販連	11,352	-	96,424	-	近畿生乳販連	726	-	6,283	-
中国生乳販連	16,426	-	131,833	-	中国生乳販連	4,588	-	39,915	-
四国生乳販連	8,549	-	71,964	-	四国生乳販連	284	-	2,459	-
九州生乳販連	34,475	-	282,699	-	九州生乳販連	7,322	-	63,162	-
都府県	201,480	-	1,654,146	-	都府県	35,560	-	309,491	-
合計	272,471	-	2,238,522	-	合計	37,276	-	323,335	-

5) 特定乳製品向け (脱脂粉乳・バター等向け)

6) 生クリーム等向け

指定団体	11月		4-11月累計		指定団体	11月		4-11月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	96,621	104.5	824,485	95.4	北海道	104,801	-	847,042	-
東北生乳販連	1,751	61.9	24,004	85.4	東北生乳販連	954	-	5,326	-
関東生乳販連	3,931	83.6	47,723	88.6	関東生乳販連	1,451	-	12,200	-
北陸酪連	25	81.2	351	103.6	北陸酪連	36	-	331	-
東海酪連	572	97.3	5,470	84.3	東海酪連	72	-	611	-
近畿生乳販連	0	-	168	68.0	近畿生乳販連	95	-	757	-
中国生乳販連	355	68.5	3,931	101.2	中国生乳販連	334	-	2,994	-
四国生乳販連	0	-	9	14.7	四国生乳販連	137	-	1,112	-
九州生乳販連	2,659	101.4	25,780	87.8	九州生乳販連	2,774	-	20,836	-
都府県	9,293	82.3	107,437	87.8	都府県	5,852	-	44,167	-
合計	105,914	102.1	931,921	94.4	合計	110,653	-	891,209	-

7) チーズ向け

8) 全乳哺育向け

指定団体	11月		4-11月累計		指定団体	11月		4-11月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	29,810	103.2	261,684	95.1	北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	224	106.4	1,778	99.0	東北生乳販連	0	-	3	26.2
関東生乳販連	63	95.2	497	98.0	関東生乳販連	0	-	0	-
北陸酪連	6	124.2	45	104.7	北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	122	102.0	1,124	102.4	東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	2	104.7	14	81.8	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	36	105.2	271	97.2	中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	11	145.7	44	109.2	四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	97	98.0	787	97.5	九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	561	103.2	4,559	99.4	都府県	0	-	3	26.2
合計	30,371	103.2	266,243	95.1	合計	0	-	3	26.2

注1) この速報は、キロ (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 今年度から生クリーム等向けの定義が変わり、飲用牛乳・はっ酵乳等向けに移った数量がありデータに連続性がないため、それぞれの前年比は表示しておりません。

注3) 北海道の生クリーム等向けには、その他向けが含まれています。

注4) 今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

生乳検査実績速報

＊ ＊平成29年11月分＊ ＊

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率4.02%(前年同月+0.04%)、乳蛋白質率3.43%(前年同月比+0.03%)、無脂固形分率8.80%(前年同月比+0.04%)、体細胞数30.9万/ml(前年同月比-0.8万/ml)、細菌数5.9万/ml(前年同月比-0.8万/ml)であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

(単位:戸・%・万/ml)

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪 神	43	43	4.04	3.92	3.41	3.36	8.75	8.75	32.9	35.7	8.7	14.7
播 州	67	68	4.03	3.92	3.45	3.40	8.83	8.80	33.9	38.8	6.1	6.3
丹 但	36	36	4.00	3.94	3.51	3.42	8.89	8.81	32.3	36.4	5.8	9.4
淡 路	123	123	4.02	3.93	3.40	3.36	8.78	8.76	28.1	29.6	4.8	6.2
県 平 均	269	270	4.02	3.93	3.43	3.38	8.80	8.78	30.9	33.8	5.9	8.0

『地域別乳質改善目標達成割合』

(単位:件・%)

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率 3.7%以上	乳蛋白質率 3.2%以上	無脂固形分率 8.7%以上	体細胞数 25万未満	細菌数 10万未満
阪 神	129	90.7	87.6	63.6	42.6	86.8
播 州	201	90.5	98.5	76.1	45.3	89.6
丹 但	108	82.4	95.4	83.3	45.4	87.0
淡 路	369	88.9	88.9	66.7	56.9	90.5
県 平 均	807	88.7	91.9	70.8	50.2	89.2

『組合別バルク検査平均値及び目標達成割合』

(単位:件・%・万/ml)

組合名	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵庫六甲	129	4.04	90.7	3.41	87.6	8.75	63.6	32.9	42.6	8.7	86.8
みのり	45	3.99	93.3	3.42	97.8	8.79	68.9	43.1	44.4	16.5	75.6
東 播	117	4.02	89.7	3.43	98.3	8.81	74.4	33.7	41.0	3.3	93.2
西 播	39	4.09	89.7	3.54	100.0	8.92	89.7	23.9	59.0	2.7	94.9
北 但	33	4.12	90.9	3.58	100.0	8.99	90.9	39.8	42.4	10.6	78.8
兵庫丹但	69	3.94	76.8	3.47	92.8	8.85	78.3	30.0	42.0	3.9	89.9
たじま	6	3.94	100.0	3.50	100.0	8.83	100.0	18.3	100.0	1.4	100.0
淡路日の出	57	3.94	91.2	3.29	77.2	8.70	66.7	28.4	57.9	2.5	96.5
淡 路 島	312	4.03	88.5	3.42	91.0	8.80	66.7	28.0	56.7	5.2	89.4
県 平 均	807	4.02	88.7	3.43	91.9	8.80	70.8	30.9	50.2	5.9	89.2

淡路家畜市場情報

平成29年11月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	19	209,804	266,760	33,480			56
前回	18	217,800		262,440	169,560			55	-7,996	-3.7%	
前年	26	233,405		277,560	124,200			51	-23,601	-10.1%	
オス	今回	24	253,485	316,440	193,320			54			
	前回	21	271,389	326,160	209,520			54	-17,904	-6.6%	
	前年	22	303,922	351,000	248,400			55	-50,437	-16.6%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年	1	93,960		93,960	93,960			51	-93,960	-100.0%	
オス	今回	15	56,448	87,480	10,800			52			
	前回	11	56,258	98,280	8,640			51	190	0.3%	
	前年	12	84,780	106,920	50,760			51	-28,332	-33.4%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は平成29年10月25日・前は平成28年11月9日

平成29年11月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	18	183,000	238,680	36,720			57
前回	19	209,804		266,760	33,480			56	-26,804	-12.8%	
前年	22	264,404		344,520	1,080			55	-81,404	-30.8%	
オス	今回	23	249,104	311,040	104,760			55			
	前回	24	253,485	316,440	193,320			54	-4,381	-1.7%	
	前年	20	342,630	408,240	195,480			55	-93,526	-27.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	12	74,790	103,680	12,960			55			
	前回	15	56,448	87,480	10,800			52	18,342	32.5%	
	前年	10	93,852	114,480	58,320			53	-19,062	-20.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は平成29年11月9日・前は平成28年11月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
26年次	45,380	991	41,498	2,237	45,757	433	46,726	124,624	
27年次	64,443	1,030	65,296	2,004	77,520	400	75,102	121,664	
28年次	96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177	
28	1	76,548	90	91,636	158	111,080	27	112,142	9,709
	2	82,502	82	91,509	156	95,842	31	113,885	9,279
	3	98,757	102	102,968	185	102,004	29	113,158	10,264
	4	105,777	86	124,165	156	114,895	26	119,542	9,276
	5	116,872	70	128,958	111	128,179	19	135,924	9,004
	6	125,864	37	135,982	110	135,617	14	134,484	9,233
	7	105,962	62	133,011	133	160,007	13	116,795	9,572
	8	117,145	77	121,360	135	118,908	20	98,135	11,045
	9	96,317	77	103,858	182	89,843	32	87,204	10,264
	10	79,468	67	81,273	178	66,221	38	92,711	9,470
	11	95,481	93	97,150	150	98,490	36	99,112	9,719
	12	82,177	89	94,986	139	89,802	40	91,166	9,342
29	1	78,093	104	92,327	199	74,455	33	84,190	9,183
	2	85,097	97	92,766	123	64,548	30	98,315	8,483
	3	91,912	77	95,857	172	66,350	23	110,799	9,400
	4	101,196	70	112,040	143	100,552	29	116,828	8,803
	5	104,079	84	130,527	113	109,550	23	121,329	8,616
	6	108,921	34	135,761	115	136,234	14	137,632	8,181
	7	120,508	55	124,506	134	104,040	15	118,899	8,817
	8	107,178	67	107,911	158	115,020	18	97,028	10,455
	9	84,925	82	90,397	144	60,619	31	92,868	9,800
	10	86,820	108	92,828	165	78,259	26	105,133	10,135
	11	88,800	90	86,446	188	88,221	35	118,793	9,574
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
26年次	160,668	3,350	157,194	4,692	200,255	3,030	162,876	153,389	
27年次	192,996	3,604	190,382	5,143	246,738	3,004	197,323	166,751	
28年次	257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606	
28	1	213,238	303	202,822	475	281,982	295	224,257	14,061
	2	214,273	342	209,469	444	271,354	276	229,554	13,772
	3	223,849	381	217,176	531	277,722	287	236,767	15,201
	4	253,843	323	255,633	430	308,423	260	250,058	13,264
	5	279,766	301	270,527	383	315,630	236	264,799	13,066
	6	294,349	209	287,045	450	340,358	233	281,350	12,717
	7	285,071	244	280,770	363	384,258	180	285,459	12,677
	8	277,388	276	280,096	391	339,831	193	270,947	14,607
	9	281,508	261	280,947	499	321,886	236	255,391	14,400
	10	266,688	314	264,337	403	304,279	273	247,866	14,005
	11	272,821	356	266,333	455	312,788	236	259,911	14,562
	12	263,578	334	261,791	473	320,622	306	264,140	14,274
29	1	253,129	394	260,011	442	317,228	325	258,295	14,423
	2	276,805	289	263,012	402	300,487	293	269,209	12,744
	3	271,717	302	263,300	482	298,601	251	277,565	13,566
	4	292,111	262	283,986	398	344,232	270	298,087	12,594
	5	306,824	291	305,832	327	338,071	239	297,879	13,124
	6	325,804	200	320,555	415	357,072	180	296,850	11,689
	7	301,414	207	296,951	349	362,240	162	282,085	11,588
	8	292,081	283	283,966	528	339,607	173	248,789	13,226
	9	254,365	260	254,589	393	279,054	240	230,024	12,678
	10	230,264	295	209,166	391	271,433	205	222,022	14,025
	11	217,210	266	201,102	487	268,621	242	227,183	13,614
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

北海道産牛価格情勢

(平成29年12版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

29年11月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン根室市場	2日	798,000円	840,000円	-42,000	95.0%
ホクレン北見市場	3日	739,000円	632,000円	107,000	116.9%
ホクレン十勝市場	8日	881,000円	838,000円	43,000	105.1%
ホクレン南北海道市場	10日	739,000円	765,000円	-26,000	96.6%
ホクレン豊富市場	16日	798,000円	770,000円	28,000	103.6%
ホクレン釧路市場	22日	844,000円	806,000円	38,000	104.7%
ホクレン根室市場	23日	841,000円	891,000円	-50,000	94.4%
ホクレン北見市場	27日	794,000円	883,000円	-89,000	89.9%
ホクレン十勝市場	28日	848,000円	890,000円	-42,000	95.3%
平均		832,000円	846,000円	-14,000	98.3%

12月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン十勝市場	8日	881,000円	990,000円
ホクレン北見市場	14日	794,000円	938,000円
ホクレン南北海道市場	18日	739,000円	818,000円
ホクレン釧路市場	19日	844,000円	921,000円
ホクレン根室市場	20、21日	841,000円	957,000円
ホクレン豊富市場	22日	798,000円	924,000円
平均		832,000円	950,000円

1月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン南北海道市場	12日	897,000円
ホクレン釧路市場	17日	917,000円
ホクレン根室市場	18日	927,000円
ホクレン豊富市場	19日	931,000円
ホクレン十勝市場	23、24日	955,000円
ホクレン北見市場	25日	902,000円
平均		

兵庫県酪農協 購買課

北海道乳牛産地情報

(平成29年12月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	5.0~6.0	横這い	札幌管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計100.1%、累計で94.4%、苫小牧管内月計で102.8%、累計で98.5%の実績となっております。
	初妊牛	8.3~9.3	横這い	12月の初妊牛動向としてはそれなりの値段がついていることから、販売購買で中クラス以上を求めると、価格は見せまいで推移するものと思われ、高能力牛も出てくる地域ですので、ご要望がございましたら、お早目のご注文をお願い致します。育成牛につきましても、道内各地より同地域の市場へ購買が入っており、高値が続くものと思われます。
	経産牛	4.5~5.0	横這い	育成牛の11月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で101.8%、累計で98.0%、中標津管内月計で102.3%、累計で100.0%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	5.8~6.8	やや強含み	12月の初妊牛動向といたしまして、3月~4月分晩腹が中心の動きとなります。11月上旬にはやや弱めの相場展開をみせましたことから、道内の大型牧場の導入が活発化する見込みであること、年明けの相場上昇を見越し前倒しでの導入が押える可能性もあることから、横這いから強めの相場展開になると見込まれます。また、育成牛についても管内で大型牧場の導入が活発化しており強含みで動くものと思われれます。
	初妊牛	8.5~9.5	横這い	
	経産牛	5.5~6.5	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	5.2~6.2	横這い	帯広管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.3%、累計で98.9%の実績となっております。
	初妊牛	8.5~9.5	横這い	12月の初妊牛動向といたしまして、2~3月分晩腹のF1腹がメインとなり、資源は昨年並みであると予想されるものの、道内酪農家における生乳生産意欲が旺盛であり一定の道内需要が見込まれること、また道内外のメガ・キガファームの大型導入も活発化しており、今年も昨年同様、相場が急騰する可能性が有ります。特に雌雄選別腹は引き合いが強く、牛なりの良いためについはF1腹以上の価格となることもあり得ます。
	経産牛	5.3~6.3	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	5.0~6.0	横這い	道北管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.6%、累計で99.0%、北見管内では月計で102.2%、累計で99.2%の実績となっております。
	初妊牛	8.0~9.0	横這い	12月の初妊牛動向として、2~3月分晩腹がメインとなります。11月の初妊牛相場は、比較的落ち着いた展開となりましたが、12月の相場については、資源と需要の面から横這いで予想しており、価格の下がる要素は少ないと思われ、現在、雌雄選別腹、F1腹ともに80万円台で推移しておりますが、牛なりの良いものについては90万円を超える価格になると思われます。道内外において、クラスター事業を利用した規模拡大農家の初妊牛更新も始まっております。
	経産牛	5.0~6.0	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	5.2~6.0	横這い	道内の11月中旬までの生乳生産量前年比は102.4%、累計で99.0%の実績となっております。
	初妊牛	8.5~9.5	横這い	12月の初妊牛動向といたしまして、2月~3月分晩腹となり、この時期の購買頭数は年間を通して最も多くなります。本会の庭先購買及び道内各市場の出場頭数をみますと、資源としては、昨年並みの資源状況となっております。一方、需要ですが本会取扱頭数及び道内各市場の成立頭数は減少傾向にあり、需要は昨年と比較し、やや弱い状況となっております。しかしながら、今後道内外におけるメガ・キガファームの大型導入は順次計画されており、短期的には相場が上昇する展開も考えられます。育成牛については、道内外のメガ・キガファームの引き合いが顕著となり、先月相場のやや強めの展開となりました。家畜輸送が混み合うシーズンとなります。また、年末年始を迎えるにあたり年内導入をご希望される場合は12月上旬までの早めのご注文をお願いいたします。
	経産牛	5.3~6.3	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の底先選畜購買による予想相場です。

底先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
電話 011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 (0154)52-1232
帯広事務所 (0155)37-6051
道北事務所 (01654)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当がお伺いし、最近の状況を説明し、納得いただいたら、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

牛群成績平均情報 1

平成 29年 11月分

2017/12/07

64

兵庫

全 121 戸中 95 戸集計

年間累計	k.g (1戸平均)	千円 (1戸平均)	生乳100kgに 要した 濃厚飼料枚
乳量	35,249,040 (371,043)	3,794,920 (39,947)	2233
前年対比	100 %	103 %	2233
濃厚飼料	14,619,528 (153,890)	786,933 (8,284)	21 %
前年対比	101 %	100 %	21 %
	乳代一 濃厚飼料費	3,007,987 (31,663)	飼料効果 2.4
		前年対比 104 %	

検定日成績 (1戸平均)	1 日 成 績		1頭1日当たり平均		1kg単価
	検定乳量 kg	濃厚飼料 給与量	乳代 濃厚飼料費	乳質率 %	濃厚飼料 kg
今 月	966	397	21269	4.03	111
前 月	961	461	23842	3.95	111
3 カ月	1013	446	109659	3.89	111
過去1カ年	1014	420	109078	3.91	111

前 回 か ら の 日 数	検定から 発行までの 日数
平均 31	日平均 10.1

移動 13カ月 成績 検定月	牛 群			構 分			成 績			検定日成績 / 搾乳牛 1頭平均							
	戸数	経産牛	搾乳牛	頭数	初産	雌	標準乳量	乳量	乳質率	無脂固形分率	蛋白質率	MUN	P/F 比	濃厚飼料給与量			
11	117	5297 (45.2)	4400 (37.6)	86	222	380 (4.0)	110 (1.2)	202 (2.1)	102	33.2	28.2	4.06	3.41	8.84	11.0	0.84	11.6
12	119	5364 (45.1)	4490 (37.7)	87	215	344 (3.6)	95 (1.0)	164 (1.7)	101	33.0	28.4	4.09	3.40	8.84	10.7	0.83	11.6
1	114	5120 (44.9)	4325 (37.9)	87	214	311 (3.3)	91 (1.0)	148 (1.6)	102	33.1	28.7	4.05	3.42	8.87	10.6	0.84	11.7
2	117	5247 (44.8)	4454 (38.1)	87	214	277 (2.9)	89 (0.9)	132 (1.4)	101	32.8	28.7	4.09	3.41	8.86	11.1	0.83	11.8
3	116	5165 (44.5)	4495 (38.8)	89	219	280 (2.9)	90 (0.9)	137 (1.4)	101	32.8	28.8	4.02	3.38	8.83	11.5	0.84	11.8
4	114	5142 (45.1)	4532 (39.8)	90	226	213 (2.2)	83 (0.9)	104 (1.1)	102	33.2	29.1	3.98	3.32	8.78	11.5	0.83	11.9
5	113	5173 (45.8)	4496 (39.8)	90	232	220 (2.3)	89 (0.9)	109 (1.1)	101	33.4	28.9	3.89	3.29	8.75	11.3	0.85	11.8
6	113	5106 (45.2)	4371 (38.7)	89	243	219 (2.3)	71 (0.7)	118 (1.2)	101	33.4	28.6	3.90	3.30	8.77	11.5	0.85	11.8
7	110	4973 (45.2)	4142 (37.7)	87	245	296 (3.1)	88 (0.9)	143 (1.5)	102	32.5	27.3	3.87	3.22	8.67	12.0	0.83	11.7
8	111	4986 (44.9)	4151 (37.4)	85	241	310 (3.3)	97 (1.0)	153 (1.6)	102	32.6	27.1	3.84	3.22	8.65	11.3	0.84	11.6
9	108	4899 (45.4)	4060 (37.6)	85	235	347 (3.7)	89 (0.9)	189 (2.0)	102	33.9	28.2	3.88	3.32	8.77	10.3	0.86	11.8
10	106	4429 (41.8)	3673 (34.7)	85	230	321 (3.4)	101 (1.1)	174 (1.8)	102	33.2	27.7	3.95	3.39	8.84	10.9	0.86	13.3
11	95	3969 (41.8)	3280 (34.5)	86	227	133 (1.4)	40 (0.4)	78 (0.8)	102	33.3	28.0	4.03	3.42	8.86	11.3	0.85	11.5
平均・計	95	3887 (40.9)	3446 (36.3)	87	227	3518 (37.0)	1093 (11.5)	1773 (18.7)	102	32.9	28.2	3.91	3.33	8.78	11.3	0.85	11.7
前年成績	95	3987 (41.8)	3497 (36.8)	87	226	3504 (36.9)	1062 (11.2)	1716 (18.1)	101	32.4	27.7	3.87	3.32	8.78	11.3	0.86	11.4

()内は、1戸平均。

検定日 乳量 階層	1 産			2 産			3 産			4 産			5 産以上		
	21日 以下	22日 ~	23日 以上	21日 以下	22日 ~	23日 以上	21日 以下	22日 ~	23日 以上	21日 以下	22日 ~	23日 以上	21日 以下	22日 ~	23日 以上
55以上	13														
50	36														
45	89														
40	205														
35	401														
30	594														
25	665														
20	620														
15	419														
15未満	238														
頭数	49	80	140	258	262	307	88	203	340	481	441	631			
標準乳量	31.4	33.0	32.3	35.0	34.8	33.1	33.0	31.2	33.0	33.4	34.1	32.5			
平均乳量	25.7	30.1	29.3	29.7	26.4	21.6	34.7	36.4	37.0	32.9	26.4	19.5			
乳脂率 %	4.08	3.76	3.66	3.84	4.10	4.29	4.67	4.00	3.76	3.87	4.17	4.36			
蛋白質率 %	3.34	3.02	3.09	3.32	3.53	3.82	3.46	3.07	3.12	3.32	3.63	3.85			
無脂固形分率 %	8.79	8.61	8.70	8.85	9.04	9.30	8.85	8.51	8.59	8.76	8.96	9.14			
MUN mg / dl	10.9	10.6	11.9	12.2	11.7	11.2	9.1	10.2	11.1	11.6	11.4	11.4			
濃厚飼料給与量	10.9	11.2	11.6	11.3	11.0	10.9	11.7	12.0	12.2	12.3	11.6	10.9			
B C 管	3.00	3.00	3.00	2.95	3.11	2.62	3.67	3.11	2.85	2.90	3.10	3.11			

参考情報:MAX:ピーク時乳量(kg), DAY:乳ピークに要した日数(日), MID:分娩後100日目乳量(kg), LP:泌乳開始日

搾乳管理	搾乳管理は、2回搾乳農家で検計
ユニット	4.7 台
1回平均	89 分
1頭平均	13 分
1回目	47 %
2回目	53 %

搾乳管理	搾乳管理は、2回搾乳農家で検計
産 数	5
1 産	596
2 産	458
3 産以上	687
乾 乳	60

240~305日間成績	240~305日間成績
乳量	8490
乳脂率	3.79
蛋白質率	3.26
無脂固形分率	8.80
植乳量	10196
植乳量	9540
植乳率	3.82
植乳率	3.28
植乳率	3.23
植乳率	3.25
植乳率	8.73
植乳率	10165

検定日牛群構成	頭数	未経産牛	1産	2産	3産	4産	5産以上	除糞牛
年齢	3969	1-5	2-9	3-11	5-2	6-4	8-6	5-5
比率	4307	8	31	24	18	10	10	3.1
(未経産牛含む)								

発行: (一社) 家畜改良事業団

牛群成績平均情報 2

平成 29年 11月分

2017/12/07

64

2 / 2
兵庫
兵庫

全 121 戸中 95 戸集計

移動 13カ月 成績 検査月	授精		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数					
	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率	授精率				
11	810	(8.5)	31	2.9	43	37	79	14.2	57	2890	(20.4)	177	6	15	15	13	50	62	12	64	24	11
12	855	(9.0)	30	3.0	42	44	81	14.1	59	2809	(19.4)	180	6	15	15	13	51	62	12	64	24	11
1	837	(8.8)	26	2.8	39	34	82	13.7	56	2836	(19.6)	180	6	15	14	14	51	62	12	65	23	11
2	793	(8.3)	30	2.8	37	38	82	13.9	55	2813	(19.8)	179	7	15	14	13	50	61	12	65	23	11
3	829	(8.7)	29	2.8	41	36	83	14.3	54	2845	(20.2)	179	7	15	14	13	50	61	12	65	22	10
4	760	(8.0)	25	2.9	40	38	84	14.8	54	2847	(21.5)	175	7	16	15	13	49	61	12	66	22	10
5	790	(8.3)	27	2.8	41	30	86	15.8	52	2843	(23.4)	173	7	17	16	13	47	61	12	66	22	10
6	762	(8.0)	24	2.9	45	29	89	14.2	53	2740	(24.2)	173	7	17	16	13	48	61	12	66	22	10
7	651	(6.9)	27	2.9	45	28	81	13.7	54	2732	(24.8)	174	7	16	16	13	48	60	13	66	21	10
8	582	(6.1)	27	3.0	47	29	89	14.9	50	2716	(24.5)	175	7	16	16	13	49	60	13	66	21	10
9	859	(9.0)	27	3.1	46	16	89	13.6	50	2891	(24.0)	176	6	15	16	14	49	59	14	66	20	9
10	870	(9.2)	25	3.1	47	2	81	13.5	58	2885	(19.7)	179	7	13	16	14	51	60	14	66	20	9
11	383	(4.0)	27	3.2	49	0	89	15.0	61	1733	(18.2)	183	7	11	16	13	53	59	14	66	19	9
平均・計	9398	(98.9)	27	2.9	19	33	84	14.2	53	1829	(20.3)	179	7	14	16	13	50	61	13	65	22	10
前年成績	9498	(100.0)	31	2.8	18	37	87	14.7	54	1840	(20.4)	174	7	14	16	13	50	62	13	63	25	12

()内は、1戸平均。

月	経産牛1頭当たり年間成績		P/F比		
	乳量	乳脂率			
11	9001	3.96	3.34	8.78	0.84
12	9010	3.96	3.34	8.78	0.84
1	9015	3.96	3.34	8.79	0.84
2	9069	3.96	3.34	8.78	0.84
3	9054	3.97	3.35	8.79	0.84
4	8957	3.92	3.35	8.80	0.86
5	9082	3.98	3.35	8.79	0.84
6	9107	3.97	3.35	8.79	0.84
7	9106	3.98	3.35	8.79	0.84
8	8989	3.93	3.35	8.79	0.85
9	9011	3.93	3.35	8.79	0.85
10	9071	3.92	3.34	8.79	0.85

授精報告 頭数 分布	未経産		経産		頭数		頭数		頭数		頭数		頭数		頭数		頭数	
	59日以下	60日	79日	80日	99日	100日	119日	120日	120日	120日	120日	120日	120日	120日	120日	120日	120日	120日
今月の未授精牛	1070	54	12	7	5	22	207	2899	85	73	207	2899	85	73	207	2899	85	73
初前月	270	33	27	17	9	15	270	33	27	17	9	15	270	33	27	17	9	15
3カ月前	699	32	24	18	8	18	699	32	24	18	8	18	699	32	24	18	8	18
精進1年	2448	26	26	20	10	18	2448	26	26	20	10	18	2448	26	26	20	10	18
繁殖に供さない牛 13 頭																		

項目別 種雄牛成績	種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛情報		種雄牛情報		種雄牛情報		種雄牛情報		種雄牛情報		種雄牛情報		種雄牛情報		種雄牛情報	
	頭数	成績あり種雄牛	後代検定	種雄牛	乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	除糞率	授精・妊娠	未経産	1産	2産	3産	4産以上	合計頭数	合計頭数	合計頭数
授精・妊娠	3095	46	15	5	49	+2165	+982	+0.04	+0.07	+0.11	+86220	+101274						
未経産	693	59	22	5	36	+1761	+759	+0.10	+0.06	+0.10	+71671							
1産	338	70	32	22	8	+1445	+622	+0.04	+0.04	+0.02	+56974							
2産以上	1315	73	26	6	21	+1041	+567	-0.03	0.00	-0.05	+44870							
平均又は合計	2654	69	24	30	30	+810	+435	-0.01	0.00	+0.01								

注) 乳代効果と無脂固形分率には海外種雄牛は含まれておりません

月別分娩 予定頭数	30日以上						455日以上						分産間隔(予定)													
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
11月	11	16	16	15	14	11	10	11	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
12月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
1月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
2月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
3月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
4月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
5月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
6月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
7月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
8月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
9月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
10月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
11月	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
合計	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653	1653

年間 追加 除糞牛	追加		追加		追加		追加		追加		追加		追加		追加		追加	
	頭数	比率	頭数	比率	頭数	比率	頭数	比率	頭数	比率	頭数	比率	頭数	比率	頭数	比率	頭数	比率
未経産	380	8.8	8.9	8.9	2.2	4.4	8.9	20.0	11.1	60.0	45	1						
1産	721	16.7	14.5	1.8	13.2	1.8	1.4	9.5	15.0	6.4	16.8	33.6	220	5				
2産	5	0.1	18.8	3.1	13.0	3.8	0.8	12.3	21.1	6.5	8.0	32.2	261	6				
3産以上	14	0.3	17.5	6.0	10.4	4.3	2.2	7.9	15.9	11.2	11.0	32.9	680	16				
除糞日までの分産後日数	5-5	(6-3)	5-6	5-2	4-11	4-10	4-11	6-1	5-2	5-7								
除糞日までの分産後日数	268	(280)	431	234	197	281	256	353	273	352								

注) 除糞牛平均には乳用別頭数は含まれておりません

NTP上位40位以内【新規牛は除く】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱っているもの)

総合指数順 (N T P)

《2017-8》

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命連産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定育種値)						体型のEBV				血統情報		管理形質					
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体貌と 骨格	肢蹄 強度 性	乳用 乳器	決定 骨点	父牛	母系祖父	産子難産率	在群期間	泌乳持続性		
A	1	JP4H55951	アイユー・レディスマナー・ジョージア	67,399	138,129	2,876	1,332	67	0.15	122	0.06	53	0.11	0.46	1.02	0.83	0.99	1.08	2.40	ビー・コン	7-20	6	66	0.72
A	2	JP3H55926	ウインザー・マナー・SW ナイアグラ ET	97,139	180,530	2,836	1,806	77	0.07	168	0.05	53	-0.04	0.54	-0.35	0.22	0.26	0.41	2.41	ナイアグラ	7-20	6	56	-0.02
A	3	JP3H56191	カム サンダー・ハード	74,075	127,364	2,754	1,137	69	0.26	117	0.15	47	0.10	1.68	0.75	1.18	1.11	1.47	2.30	スー・ダン	7-20	6	64	2.37
A	4	JP5H55552	サンワード・スーパ・エモーション ET	116,214	141,246	2,590	1,425	58	0.03	139	0.04	46	0.01	-0.06	0.64	0.59	0.84	0.71	1.72	スー・ダン	7-20	6	63	1.62
A	5	JP4H56400	ベイリッチランド・スーダン・ハウエル ET	89,655	104,136	2,572	881	75	0.04	72	0.06	37	0.09	1.53	0.33	1.20	0.99	1.28	2.14	スー・ダン	7-20	6	54	0.01
A	6	JP3H56451	ハイブリッド・ナツガル・ホーイ	5,159	94,306	2,551	725	70	0.42	80	0.18	41	0.20	1.13	0.69	1.36	1.50	1.58	2.69	スー・ダン	7-20	6	61	0.21
A	8	JP3H55839	アイユー・ナド・エイクラス ET	109,716	146,929	2,424	1,568	30	-0.30	156	0.18	51	0.02	0.48	0.29	0.32	1.09	0.97	1.47	ナイアグラ	7-20	7	60	-0.64
A	9	JP4H56365	アイユー・フェイス・アット・ホーイ	108,116	86,752	2,420	669	61	0.37	70	0.18	33	0.12	1.05	0.36	-0.09	0.99	1.00	2.03	スー・ダン	7-20	6	57	0.82
A	11	JP5H56250	クローツ・エーカー・ス・M エグザイル	48,563	143,590	2,261	1,480	57	0.00	118	0.00	49	0.00	0.88	0.21	0.55	-0.16	0.14	2.20	スー・ダン	7-20	6	63	1.04
A	13	JP3H56137	クネカント・ハンナ・ベル・スカイ ET	98,880	124,879	2,221	1,397	29	-0.25	122	0.00	43	-0.03	0.71	1.37	0.74	1.22	1.45	2.18	アルタアイダ	7-20	7	64	1.46
A	14	JP3H56115	ピュアワイル・ロサ・ハツソ	54,780	92,778	2,207	758	37	0.09	99	0.39	45	0.21	0.24	0.62	0.28	0.77	0.67	2.56	ドゥー・ベルズ	7-20	6	62	1.66
A	15	JP5H56304	ゴードン・N SW シェルト ET	66,090	109,512	2,184	1,048	51	0.11	110	0.08	38	0.04	0.36	0.24	1.29	0.96	0.95	1.94	シェルト	7-20	5	57	1.36
A	16	JP4H54859	モントラップ・ゴードン・ホルトン ET	60,894	32,460	2,151	-107	75	0.86	20	0.31	30	0.37	0.27	0.06	0.07	0.06	0.40	2.69	ホルトン	7-20	11	86	-0.30
A	18	JP3H55992	ライジング・サン・サマー・ソニック ET	29,799	102,317	2,133	987	53	0.16	79	0.00	40	0.09	0.60	0.39	1.21	0.84	0.83	2.64	ビー・コン	7-20	7	63	-0.20
A	19	JP5H55879	ハンジーン・CCM ウェラー	47,920	129,857	2,132	1,321	62	0.11	103	-0.07	38	-0.04	1.98	0.06	1.32	0.41	1.09	2.49	アイオーン	7-20	7	64	1.84
A	20	JP3H56204	ザリックス・シー・ブリーズ	46,873	46,598	2,118	43	81	0.87	33	0.27	25	0.26	1.01	0.41	1.30	0.86	0.92	2.13	スー・ダン	7-20	7	566	-0.21
A	21	JP2H56641	NLBC スター・アール・オン ET	67,816	89,119	2,079	856	39	0.05	83	0.10	30	0.01	2.33	0.67	1.81	1.65	1.92	2.12	スー・ダン	7-20	6	56	1.23
A	23	JP5H55973	ストリート・エヴァン	74,719	91,950	2,033	885	35	0.00	93	0.15	36	0.07	0.51	0.77	0.20	0.89	1.00	2.26	ビー・コン	7-20	6	60	1.95
A	24	JP5H56263	HMU ソレイユ・オース・ボリバー	70,115	143,243	2,020	1,684	40	-0.23	120	-0.23	40	-0.15	0.24	0.58	0.50	0.16	0.30	1.60	オー・スタイル	7-20	5	52	0.70
A	25	JP5H55782	リバーサイド・グレイ ET	75,155	61,989	1,996	514	30	0.13	55	0.18	28	0.12	1.59	1.23	0.97	1.24	1.59	1.94	マンローン	7-20	7	60	1.14
A	26	JP3H55079	マックス・ステイ・ニホロ ET	61,166	62,693	1,984	450	45	0.28	66	0.21	34	0.20	0.63	0.21	-0.10	0.67	0.68	1.91	エイト・ストリー	7-20	4	68	0.60
A	28	JP3H56376	ディハロップ・キュー・トーン ET	73,439	94,050	1,923	999	34	-0.04	90	-0.03	32	-0.01	1.50	0.45	1.28	1.55	1.64	1.77	ブツダム	7-20	6	62	0.59
A	30	JP5H55389	リバー・アネット・シュウ・クリン ET	21,751	96,423	1,837	935	26	-0.11	104	0.25	44	0.15	1.29	-0.22	1.66	1.04	1.12	2.11	ブツダム	7-20	7	49	-0.36

入手難易度

A:配種希望本数に応じて供給可能なもの。 B:着床率(時期により入荷の厳しいもの) C:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E:本牛の体質不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛糞合着性形成不全症(OV)は掲載牛全頭陰性。ブラスパスイナ(BV)については、掲載牛全頭検査済みで、保因牛については名号の後に*BYCと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

《2月新規牛でNTP40位以内》

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

総合指数順 (N T P)

《2017-8》

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTF)	生産能力のEBV(推定育種価)				体型のEBV				血統情報		管理形質							
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体高と 骨格	肢蹄	乳用強 健性	乳房 得点	体細胞 スコア	父牛 × 母系祖父	産子 難産率	在群期間 脱乳持続性			
?	3	JP3H56191	カトム サンダーハート	74,075	127,364	2,754	1,137	69	0.26	117	0.15	47	0.10	1.68	0.75	1.18	1.11	1.47	2.30	スーダン × 7Lキカガ-	6	64	2.37	
?	5	JP4H56400	ベリツチランド スーダン ハウエル ET	89,655	104,136	2,572	881	75	0.04	72	0.06	37	0.09	1.53	0.33	1.20	0.99	1.28	2.14	スーダン × 775ネット	6	54	0.01	
?	6	JP3H56451	ハイツリ サツカル ホーイ	51,159	94,306	2,551	725	70	0.42	80	0.18	41	0.20	1.13	0.69	1.36	1.50	1.58	2.69	スーダン × チカドアツク	6	61	0.21	
?	9	JP4H56365	ティューフェイス アットホーイ	108,116	86,752	2,420	869	61	0.37	70	0.18	33	0.12	1.05	0.36	-0.09	0.99	1.00	2.03	スーダン × スーバー	6	57	0.82	
?	10	JP3H56258	レイスマナー アトミレージョ	76,677	113,152	2,318	1,132	56	0.12	98	-0.40	38	0.02	0.65	0.34	0.26	0.78	0.78	2.32	スーダン × エフレッド	6	60	0.79	
?	11	JP5H56250	クワット エーカース M エグザイル	48,563	143,590	2,261	1,480	57	0.00	118	0.00	49	0.00	0.88	0.21	0.55	-0.16	0.14	2.20	スーダン × ドゥリツ	6	63	1.04	
?	10	JP3H56258	レイスマナー アトミレージョ	76,677	113,152	2,318	1,132	56	0.12	98	-0.40	38	0.02	0.65	0.34	0.26	0.78	0.78	2.32	スーダン × エフレッド	6	60	0.79	
?	12	JP3H56605	ケムブーナー スリマン パーター ET	113,163	105,150	2,253	1,016	46	0.07	108	0.09	38	0.07	1.34	0.56	1.04	1.27	1.49	1.95	スーダン × ハクスター	6	53	0.33	
?	15	JP5H56304	ゴールド N SW シェルド ET	66,090	109,512	2,184	1,048	51	0.11	110	0.08	38	0.04	0.36	0.24	1.29	0.96	0.95	1.94	シェルド × チモス	5	57	1.36	
?	20	JP3H56204	サリックス シェアリーズ	46,973	46,598	2,118	43	81	0.87	33	0.27	25	0.26	1.01	0.41	1.30	0.86	0.92	2.13	スーダン × オワード	7	566	-0.21	
?	21	JP2H56641	NLBC スター フルソロン ET	67,816	89,119	2,079	856	39	0.05	83	0.10	30	0.01	2.33	0.67	1.81	1.65	1.92	2.12	スーダン × スーバー	6	56	1.23	
?	24	JP5H56263	HMU シュリー オース ホリバー	70,115	143,243	2,020	1,684	40	-0.23	120	-0.23	40	-0.15	0.24	0.58	0.50	0.16	0.30	1.60	オーストル × 775ネット	5	52	0.70	
?	28	JP3H56376	ディハロップ キュートマン ET	73,439	94,050	1,923	999	34	-0.04	90	-0.03	32	-0.01	1.50	0.45	1.28	1.55	1.64	1.77	775ネット × ジョットル	6	62	0.59	
							100,238	2,164	940	52	0.20	89	0.09	36	0.12	1.06	0.47	0.82	0.97	1.08	1.99			

入手難易度

A: 配布希望本数に応じた供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の盛しいもの) C: 制限配布(非割当に少量しか入荷できないもの) D: 本牛の体弱不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛複合脊椎形成不全症(CV)は掲載牛全頭陰性。プラキス、パイナ(BV)については、掲載牛全頭検査済みで、原因牛については名号の後に#BYCと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な輸入検定済種雄牛(アメリカ)

T P I 順

米国ホルスタイン協会
《2017-4》

供給 難易 度	TPI 順位	略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	F			PRO			信頼度	体細胞	生産 寿命	体型のEBV			血統情報		分娩 難易度
						(kg)	(%)	(%)	(kg)	(%)	(%)				体型	乳器	肢蹄	信頼度	父	
D	1	7H012165	ペーコンヒル モントス ET	TP	2,744	83	-0.16	83	-0.02	83	3.05	98	4.6	2.24	1.60	1.87	96	モーグル ×	ホルン	6.8
A	2	7H012266	ウットクリスト モーグル ヨダー ET	TP	2,673	87	0.30	52	0.04	94	2.96	94	6.3	1.97	1.62	1.81	88	モーグル ×	フナネット	6.0
B	3	7H011352	シーガルハイ スーパーサイア7- ET	TP	2,603	98	0.16	64	0.00	99	2.84	99	6.6	1.02	0.49	0.02	99	ロバスト ×	フナネット	7.2
A	4	200H02792	サンデューパーレ サルーン ET	TY	2,599	83	0.04	71	0.06	98	3.03	98	1.1	2.85	1.60	1.43	97	アイタ	フナネット	9.4
A	5	7H012105	S-S-I モーグル リフレクター	TP	2,590	37	-0.12	60	0.12	97	2.8	6.4	6.4	1.99	1.34	1.75	93	モーグル ×	スーパー	8.0
A	6	7H012198	モーニングビュ MCC キングホーイ ET	TP	2,567	44	-0.04	40	0.00	98	2.69	4.5	4.5	3.28	2.61	1.92	94	マックエン ×	スーパー	8.2
A	7	7H011752	ロレーン ブックム ホブ 5170 ET	TP	2,564	65	0.26	50	0.34	98	2.99	4.5	4.5	1.89	1.69	0.99	95	ブックム ×	オーマン	6.7
A	8	7H011708	デスルーキー 11057 ET	TP	2,555	76	0.30	42	0.08	95	2.73	6.0	6.0	1.77	1.31	1.06	92	ブックム ×	フレイコ	5.8
B	8	1H011022	S-S-I スノーマン メイアア7- ET	TL	2,555	52	-0.26	73	0.00	99	2.77	5.6	5.6	1.02	0.47	1.29	94	スノーマン ×	リクアス	7.0
A	10	7H011383	S-S-I スノーマン モーガン ET	TP	2,552	59	0.04	48	0.04	99	2.81	7.0	7.0	1.55	1.14	0.94	97	ブックム ×	ジョル	7.4

入手難易度

A:配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の激しいもの) C:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

〔管理形質の見方について〕

※ 分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。

難易度8%が平均値で、この数値が高くなるほど、難産の可能性が高くなります。

特に未系産や尻幅のない小型の種牛、ETとしての利用の交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を優先するよう心掛けてください。
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

GLPI 順

カナディアン デイリー ネットワーク
《2017-4》

供給 難易	LPI 順位	略号	種雄牛名号	GLPI	乳量 (kg)	乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV				血統情報		管理形質
						F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	肢蹄	乳用強 償性	尻	父牛	
	2	200H3910	コムスター ロートラスト	3,330	1,637	86	0.2	76	0.17	2.90	88	14	13	14	7	11	父牛 × マンオーマン	分娩能力 100
	3	250H1043	ジエバック アイクマン RC	3,237	1,360	111	0.53	76	0.25	2.65	92	7	7	6	7	-2	スノーマン × ハウスター	106
	4	250H6480	ハルビツソントアマン ET	3,224	328	60	0.44	48	0.32	2.50	99	16	13	11	16	3	フックム × ジャトル	99
	5	7H12111	ミスター OCD エビックトドラゴンハート ET	3,211	3,099	64	-0.42	70	-0.25	2.93	89	12	13	6	1	8	エビック × プラネット	105
	6	7H12026	デース MGL グリーンウエイ 11396 ET	3,206	2,224	99	0.13	84	0.09	2.83	87	9	7	8	8	2	モーグル × プラネット	107
	7	7H11314	マウントファイールド SSI DCY モーグル ET	3,201	1,535	102	0.39	59	0.07	2.91	98	13	13	12	5	2	トロン	105
	1	250H1009	メイプルウット ブリューマスター	3,186	1,235	133	0.77	54	0.12	2.67	93	8	6	5	8	9	ギヤレット × ジャトル	102
	8	250H12128	ギルガー モーグル ソロー ET	3,126	1,566	65	0.05	52	0.01	2.80	87	14	11	14	8	6	モーグル トメイン	104
	9	250H1109	スタントンス カマロ	3,105	654	84	0.57	51	0.25	2.89	86	10	7	10	5	6	エビック × フレジャー	107
	10	200H10362	スタントンス キャピタルゲイン	3,093	2,632	81	-0.11	68	-0.14	2.68	86	12	13	7	9	-3	マッカホン × オフザパーハ	99

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。

B: 割当配布(時期により入荷の少ないもの)

C: 制限配布(少量入荷が続いているもの)

D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)

E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

【管理形質の見方について】

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の
 相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性向上を促す非常に重要な要素となりま

～ 乳用牛改良情報(ホル♀) ～

©国内における精液供給可能な検定済種雄牛

総合指数順 (N T P)

《2017-8》

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命連産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定育種価)						体型のEBV				血統情報		産子連産 スコア	備考		
						M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体幹と 骨格	肢蹄	乳用強 健性	乳器	決定 得点			父牛	母系祖父
4	JP5H55552	サンワード スーパー エモーション ET	116,214	141,246	2,590	1,425	58	0.03	139	0.04	46	0.01	-0.06	0.64	0.59	0.84	0.71	スーパー	スーパー	6	
7	JP3H55953	レイベー ナイガラ パリッシュ ET	67,963	102,603	2,241	981	41	0.05	105	0.16	41	0.10	9.00	0.09	0.53	1.47	0.97	ナイガラ	ジェットストリーム	6	
8	JP3H55839	ライニュー ナイト エリアス ET	104,836	135,510	2,236	1,486	22	-0.34	145	0.18	48	0.02	0.51	0.32	0.32	1.19	1.04	ナイガラ	ショトル	7	
14	JP3H56115	ピュアソカル ロミオ ハツオ	39,972	114,868	2,006	1,177	57	0.11	93	-0.06	36	-0.02	1.96	0.65	1.40	0.40	1.12	アイオーン	コーールドウイン	7	
15	JP5H56304	ゴールド N SW ジェラルド ET	47,871	47,871	1,964	1,130	41	-0.02	108	0.09	50	0.15	-0.27	0.05	-0.17	-0.24	-0.36	フランネット	ショトル	6	
18	JP3H55992	ライジング サン サマー ソニック ET	21,023	21,023	1,959	866	48	0.15	70	0.01	36	0.10	0.57	0.39	1.15	0.82	0.81	ビーコン	バクスター	7	
19	JP5H55879	ヘンガソン CCM ヴァレーノ	26,032	26,032	1,955	1,058	29	-0.12	114	0.23	47	0.14	1.32	-0.17	1.58	0.96	1.05	フランネット	オーマン	7	
20	JP3H56204	サリックス シープ リーズ	58,012	58,012	1,806	721	36	0.10	0.01	0.01	27	0.05	0.82	0.21	0.54	1.22	0.43	ヒル	ランズロット	6	
23	JP5H55973	ストレーフ エウアン	93,545	93,545	1,805	1,357	39	-0.08	39	-0.08	33	-0.10	0.56	0.92	0.58	0.47	0.86	フレディー	タイタニック	6	
25	JP5H55782	リバーサイト グレイブ ET	69,660	122,262	1,805	1,464	23	-0.32	114	0.01	38	-0.09	0.72	0.44	0.93	0.74	0.89	スーパー	バクスター	7	

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

©兵庫県において精液供給可能な(H29年1月現在)検定済種雄牛(カナダ)

Canadian Dairy Network
《2017-4》

L P I 順

略号	種雄牛名号	GLPI	乳量 (kg)	乳脂肪		乳蛋白		体細胞 信頼度	体型のEBV				血統情報		分娩 能力	備考
				F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)		体型	乳器	肢蹄	乳用 強健 性	尻	父牛		
777H6480	ハルビツソン トアマン ET	3,224	328	60	0.44	48	0.32	2.50	16	13	11	16	3	アックム × ショトル	99	
507H1211	ミスター OCD エビックドラゴンハートET	3,211	3,099	64	-0.42	70	-0.25	2.93	12	13	6	1	8	エビック × プラネット	105	
550H1009	メープル ウードブルーマスター ET	3,186	1,235	133	0.77	54	0.12	2.67	8	6	5	8	9	ガレット × ショトル	102	
777H1036	スタントンス キャピタルゲイン	3,093	2,632	81	-0.11	68	-0.14	2.68	12	13	7	9	-3	マッカチン オフサバーバー	99	
777H6551	ビューソール フレイム ET	3,021	-515	96	1.16	28	0.39	2.99	9	7	10	5	3	ヌドワ/ × フレディー	100	
777H3829	JK エター-I コントロール	3,016	921	15	-0.16	44	0.11	2.67	15	9	14	11	12	スノーマン × ホルトン	98	
559H1066	ジェナベーションズ ビッグ カナ	3,011	2,106	71	-0.05	73	0.03	2.84	8	10	2	7	3	エビック ホルトン	105	
777H3864	シレット ミスター ジョンソン	3,009	2,288	45	-0.35	66	-0.07	2.76	13	11	13	8	4	スノーマン コールドウインド	104	
550H1002	ジェナベーションズ エビック	2,905	1,480	41	-0.11	51	0.02	2.84	10	9	7	5	7	スノーマン ハクスター	104	

入手難易度

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難産率を示します。

難産率は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。

分娩難易度の評価値については、産牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の

相関関係が確認されています。

特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。

潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

米國ホルスタイン協会
《2017-4》

T P I

◎兵庫県において精液供給可能な(H29年4月現在)輸入検定済種雄牛(アメリカ)

略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	生産				体型のEBV			血統情報		分娩 難易 度	備考			
				F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	信賴度	体細胞	生命 寿命	体型	乳器			四肢	信賴度	父牛
507H12165	ベ-コンヒル モントロス ET	2,771	2,689	85	-0.12	80	0.00	96	3.03	4.9	2.36	1.78	2.02	92	モーグル × ホルトン	7.1	
507H12266	ウットクレスト モーグル ヨダー ET	2,673	1,373	87	0.30	52	0.04	94	2.96	6.3	1.97	1.62	1.81	88	モーグル × プラネット	6.0	
507H11351	シーガル ベイ スーパーサイア- ET	2,644	2,090	99	0.16	64	0.00	99	2.86	6.3	1.18	0.58	0.22	99	ロハスト × プラネット	7.3	
507H12105	S-S-I モーグル リフレクター	2,590	1,428	37	-0.12	60	0.12	97	2.8	6.4	1.99	1.34	1.75	93	モーグル スーパー	8.0	
507H12198	モニングビュ- MCC キングホ-イ	2,555	1,199	44	-0.06	41	0.00	92	2.77	4.3	3.16	2.69	2.36	88	マカセン スーパー	8.1	
507H11708	デス-ルーキー 11057 ET	2,574	1,093	80	0.30	43	0.08	95	2.76	5.7	1.79	1.33	1.12	92	ブツカム プロコ	5.7	
507H11621	S-S-I スノーマン メイアワー ET	2,609	2,393	52	-0.28	74	0.02	98	2.79	5.5	1.07	0.64	1.38	93	スノーマン × リクテス	7.1	
507H11383	S-S-I ブツカム モーガン ET	2,566	1,360	54	0.04	46	0.06	99	2.85	7.3	1.65	1.25	0.99	97	ブツカム × ヨトル	7.3	
507H 11585	サンデイハレー スターリンク ET	2,506	1,801	50	-0.14	56	0.00	99	3.16	6.1	2.12	1.20	1.33	98	ロハスト × プラネット	6.7	
507H11525	ミスター OCD ロハスト トナテロ ET	2,495	1,036	66	0.22	43	0.10	99	2.88	5.6	1.1	1.10	0.69	97	ロハスト × プラネット	5.9	
507H11314	マウントファイル SSI DCY モーグル	2,494	1,147	73	0.12	36	0.02	99	2.98	4.3	2.3	2.48	2.42	99	ドロシー × マーユ	6.0	
507H12014	デス- MG ダビンチ 11288 ET	2,491	740	71	0.34	43	0.16	96	2.81	4.6	2.14	2.29	1.96	94	モーグル ヴトン	7.0	
507H11419	シーガル ベイ ヘットライナー ET	2,472	1,731	70	0.04	60	0.06	99	3.19	2.1	2.34	1.58	1.97	99	ロハスト × プラネット	7.7	
507H12139	シーマーズ モーグル ハティ- ET	2,457	1,198	48	0.02	41	0.04	96	2.96	4.5	2.74	2.86	1.72	91	モーグル エクスプロード	6.4	
507H11169	ウエルカム スーパー ハートン ET	2,397	498	35	0.14	8	-0.06	99	2.63	7.2	1.12	1.42	1.18	99	スーパー × ハウスター	6.8	

【管理形質の見方について】

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の
 相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未經産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上を非常に重要な要素となります。

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所管内
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

12月のGRI（海上運賃一斉値上げ）で、数社がPNW（太平洋西岸北部）出し分の値上げを実施することとなりました。12月1日のGRIを回避した船社についても、引き続き12月15日付けや1月1日付けで値上げの通知を出しています。数社が値上げを断行したことで、各社のGRIの動きが加速することも考えられ、その動向にはより一層注意が必要となります。

ビートパルプ

<米国産>

既報の通り、新穀は例年よりやや早い8月17日から9月中旬にかけて順次スタートしており、順調に製糖作業及びペレットの生産が行われています。

現在、主産地のノースダコタ州でも気温が50F（10℃）と平年より高くなっています。この時期としては比較的高い気温であることから、保管しているビート大根の品質劣化の懸念が出始めています。もう一つの主産地であるミシガン州では、作付時のウェットな天候及び生育期のドライな天候の影響で想定以上に単収が落ち込んだことが判明しました。生産量の一部減少の動きは、米国内及び輸出向け需要が堅調な中、需給を引き締めている要因の一つとなっています。

中国からの引き合いは引き続き旺盛です。現段階ではコンテナによる受け渡しとなっていますが、本船バラ積みでの出荷についても検討されはじめています。本船による物流が確立してくると、物量面や日本向けの出荷スケジュールなどへの影響が懸念されます。

アルファルファ

ワシントン州

主産地コロンビアベースンでの17年産の生産は終了しました。

1番刈の降雨被害の割合は50～60%程度と例年並みであったことから、良品が多く発生することが期待されましたが、春期の冷涼な気候の影響で例年と比べると茎はやや細め、また、夜露の当たり方が不十分で強風の影響を受けたものは葉離れや葉崩れが見られ、ドライな品質のものが多く発生しました。2番刈については天候にも恵

まれ、例年ほど気温が上がらなかったことから、成分は比較的高く、色目の良いものが多く生産されました。3番刈、4番刈の品質については、ワシントン州北部で発生した山火事の煙の影響でウィンドローの時間が長くなり、色抜け（ブリーチ）が多く見られる中級品の発生が中心となりました。

産地周辺の酪農家からの需要はカリフォルニア州に近い他産地に比べ穏やかで、価格についても他産地と比較すると穏やかに推移しております。しかしながら、上級品に対する需要は、輸出向けおよび米国内向けともに堅調であり、産地在庫はほぼ成約済みとなっている状況です。

オレゴン州

南部クラマスフォールズでは17年産の生産は終了しました。1番刈は冷涼な気候の影響を受け生育が遅れていたものの、例年並みの6月上旬から刈取りがスタートしました。しかしながら、収穫期に断続的な降雨に見舞われ、雨当たり品か、あるいは天候の回復を待って収穫された刈遅れ品の発生が多くなりました。このため1番刈の良品の発生は非常に限定的な状況となりました。2番刈については収穫期の天候に恵まれ、2番刈らしい緑目が鮮やかな良品の発生が中心となっています。3番刈および4番刈は収穫期の不安定な天候や山火事による煙の影響で、夜露が十分に降りなかったため、ドライな品質のものが多く発生しています。

輸出向けに限らず、米国内の酪農家からも高品質アルファルファに対して需要が旺盛なことから、刈取り番手が進むにつれて産地価格は上昇し、特に成分が高い4番刈は3番刈を上回る価格で取引が行われています。

中部クリスマスバレーでも17年産の生産は終了しました。南部クラマスフォールズと同様、冷涼な気候の影響でシーズン当初の生育は遅れていましたが、例年並みの6月上旬より1番刈の収穫が開始されました。1番刈および2番刈収穫時は概ね天候にも恵まれ、例年並みに良品が生産されました。3番刈は収穫期の悪天候および山火事による煙の影響で葉量、葉付きがあまり良くないブリーチが多く入った中～低級品の発生が中心となっています。

3番刈の良品が少なかったことから、輸出向け及び国内向けの需要が2番刈に移行したため、産地価格は高値のまま堅調に推移しています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州中～北部でも17年産の生産は終了しました。1番刈は収穫期の天候が不安定であったため、50%程度雨当たり品が発生する結果となりましたが、2番刈以降は天候も安定し、例年並みの作柄となっています。当地域では引き続きアルファルファ、綿およびトウモロコシから永年作物あるナッツ類の転作が進んでおり、

作付面積は減少しています。一方で、近年続いていたカリフォルニア州の水不足問題が緩和されたことから、収穫回数が増え総生産量自体は大きな変化がない見込みです。

当地は大型酪農家が多い地域に近いことから、搾乳牛用の上級品に対する引き合いが非常に強く、産地相場は高級品～低級品まで昨年比で高値のまま堅調に推移しています。

南部インペリアルバレーでは8番刈の収穫が終盤を迎えています。産地価格については、昨年比で高値のまま推移しています。理由としては、中国からの需要は乳価の低迷により引き続き低調なものの、中東からの需要は上級品を中心に全般的に旺盛であること、秋期以降新穀に向けて更新を行う圃場が増えたこと、現在種子価格が高騰していることから、種子生産用の圃場面積が例年の2倍近い作付面積となっていることなど、複数の要因から挙げられます。

米国産チモシー

ワシントン州での17年産チモシー生産は終了しました。

1番刈については、6月上旬に断続的な降雨があったため、馬向けの最上級品の生産は限定的となりました。しかしその後は天候も回復し、酪農向けの上級品～中級品は例年並みの生産量となりました。2番刈については、8月中～下旬にワシントン州北部で発生した山火の煙の影響により通常よりもウィンドローの時間が長くなり、それにより茶葉の発生やブリーチの差込み割合が高くなってしまいました。割合としては上級品の発生はほぼゼロで、中級品40%、低級品60%程度とされています。

チモシーの需要は日本および韓国から引き続き旺盛です。産地価格は強含んだまま堅調に推移していますが、カナダ産も含めると既に相当量が日本に入っており、今後国内で余剰が出る懸念もあります。

カナダ産チモシー

17年産の生産は全て終了しています。17年産のカナダ産チモシーは南部レスブリッジの1番刈収穫期には天候に恵まれたことから、総じて早刈り傾向となっています。このため単収が7.5トン/エーカーと例年より若干減少していますが、上級品の割合が非常に多く、中～低級品を少ない状況となっています。

1番刈の収穫スケジュールが例年より早かったことから、今年は多くの圃場で2番刈の生産も行われています。単収は2.0トン/エーカー程度ですが、品質は1番刈同様上級品が多く生産されているため、国内の馬向けや子牛向けとして順調に出荷されています。

中部クレモナでも天候に恵まれたため例年より約2週間早く1番刈が終了しています。当地区においても、総じて天候に恵まれたことから、例年よりも上級品の発生が

多くなっています。

近年にない良好な作柄を受け、日本及び韓国の引き合いは非常に強く、産地在庫はほぼ完売となっています。

スーダングラス

今年度のインペリアルバレーにおけるスーダングラスの生産は終了しました。いわゆる早播きスーダンの収穫期は天候にも恵まれたため細く柔らかい茎が揃いました。また、小麦の収穫後に作付した圃場や2番刈の収穫時期には、一部降雨もあったため刈り遅れ品などの中級品、低級品も発生しています。産地在庫については、上級品は完売、低級品は若干の余剰があるようです。

北カリフォルニアでも今年度の生産は終了しています。産地価格が昨年より良かったことから今年度の作付面積は昨年より増えましたが、例年より気温の低下が早まったため、大半の畑は1度の刈り取りのみで生産終了となりました。このエリアも上級品の荷動きは順調であるのに対し、低級品については引き合いが弱く、若干産地在庫があるようです。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

今年度の生産は終了しました。昨年の産地価格が生産農家にとって魅力的ではなかったため、主産地インペリアルバレーでの作付面積は減少してスタートしました。品質については1番刈から2番刈中盤までは好天のため良品が多く生産され、2番刈後半から3番刈にかけては例年通り、4番刈及び5番刈は例年より良品の発生が増え、低級品の発生が少ない状況になりました。産地在庫はほぼ完売の状況です。

価格は日本や韓国の引き合いが引き続き旺盛であることから、変わらず強含みで推移しています。一方、産地価格が堅調なことから生産農家の生産意欲は増しつつあり、来年の作付面積については今年度比で増加するとの見方が強まっています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地オレゴン州ウィラメットバレーではライグラス、フェスキューともに17年産の生産は終了しています。今年度の収穫作業は順調に進捗し、品質面も大きな問題はありません。

しかしながら、産地の作付面積は15%程度減少と言われており、単収も昨年比でわずかに減少していることから生産量は昨年に比べ少なくなっています。加えて、16年産の繰越在庫もなく、新穀への需要も非常に堅調なことから、多くの生産農家が在庫を抱え、売り惜しみをしている状況です。このような状況から、産地相場は非常に強含みで推移しています。

ストローの輸入量が多い韓国の17年産の自給飼料の収穫は順調に進み、収量面、品質面ともに問題ないと言われています。昨年の自給飼料の不作を受けて拡大した2017年の韓国の輸入枠は2018年については例年並みの80万トン程度に戻ると予想されています。韓国の輸入粗飼料の需要が変化することで産地相場に動きが出るのが予想されるため、今後の韓国からの需要と産地の動向には注意が必要です。

豪州産オーツハイ

西豪州では刈り取りがほぼ終了、一部ベーリング待ちの圃場を残すだけとなっています。今年は生育期の初期に降雨が不十分で生育も不良でしたが、7月後半からの降雨で生育は持ち直しました。刈り取りは9月後半から行われ、10月の2週目の降雨前にベーリングまで完了したものは良品が収穫されました。その後、10月中旬からは断続的に降雨があり、70~80%程度は何らかの降雨の影響を受けたと思われます。一方で、生産量が多かった昨年度の在庫は十分量あるため、しばらくの間はほとんどのグレードが出荷可能な状況と考えられます。



(西豪州産 MH-1 新穀)



(西豪州産 MH-1A 新穀)

南豪州、東豪州では刈り取りは終了しており、一部のベーリング作業を残すのみとなっています。両地域とも当初は早魃気味でしたが、その後は適度な降雨もあり、収穫時の天候にも比較的恵まれ、上級品が多く生産されています。南豪州は一部雨当たり品も発生していますが、東豪州は雨当たり品がほとんどないため、中級品及び低級品は旧穀の在庫を充当することになりそうです。

すでに新穀の船積みが始まっており、多くのサプライヤーの工場はフル稼働に近い状態です。特に中国向けは旧正月前の入船を目指し大量に輸出されています。このため、すでに1月中下旬までのオーダーが入りにくい状況になっています。

産地価格については、特に南豪州及び東豪州で良品が多く発生していることから中国等の他国からも上級品の引き合いが強まっており、新穀はグレードによりますが前年並みから若干の値上げと予想されています。年明け以降、その動向が

はっきり見えてくるものと思われます。

豪州産のストローも収穫が始まっています。現在、西豪州では大麦わら（バーレーストロー）の収穫が開始されており、12月中下旬より小麦わら（ウィートストロー）の収穫が開始される見込みです。

以 上

酪農家の皆様へ

平成30年度から新たな加工原料乳生産者補給金制度へ移行します。

新制度は、恒久的な制度に位置付けられました。新制度において、現行の指定団体は、これまで以上に酪農経営の安定に向けて努力していきます。

新補給金の交付を受けるために必要な酪農家の方々での手続き

引き続き、現行の指定団体から補給金の交付を受けるには、29年度内に以下の手続きを現行指定団体会員農協等と行う必要があります。

- 生乳受託販売契約に係る重要事項確認書の内容確認・署名
- 生乳受託販売契約（委託計画の提出含む）の締結

※ 現行指定団体出荷の酪農家には、**補給金に加えて集送乳調整金が交付**されるよう、指定申請手続きを進めています。

制度改正に伴い、平成30年度以降、以下のような事例に該当する場合、生乳販売の受託をお断りする場合がありますこととなりました。ご留意頂きますようお願いいたします。

- ・ 季節的な変動要因を超えた増減
- ・ 短期間の取引（年末年始のみ等）
- ・ 特定の用途への生乳販売（特定の用途・乳業への販売を条件とする場合等）
- ・ 生乳の品質が基準に不適合
- ・ 合意なく約定の数量から大幅に増減、等



問い合わせ先

指定団体との委託契約について	〇〇農業協同組合 〇〇県酪農業協同組合連合会 近畿生乳販売酪農業協同組合連合会	00-0000-0000 00-0000-0000 06-6130-5711
制度の内容・直接補給金の交付を受ける際の手続きについて	農林水産省 牛乳乳製品課 加工原料乳生産者補給金制度に関する問合せ窓口 https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/seisan/c_gyunyu/171027.html	03-3502-5988

指定団体が担って来た役割ってなに？

1 価格交渉力の強化

生乳の特性により交渉上不利な状況に置かれ、適正な乳価水準が確保できない



指定団体の取引量を増やし、価格交渉力を強化して、**適正な乳価水準**を実現

2 輸送コストの削減

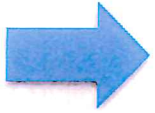
バラバラに生乳を輸送することで、非効率的な集送乳ラインとなり、輸送コストが増大



指定団体がまとめて生乳を輸送することで、効率的な集送乳ラインとなり、**輸送コストを削減**

3 条件不利地の酪農家の集送乳の実施

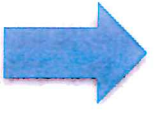
乳業工場から遠隔地の酪農家は取引条件が不利で酪農経営が困難



指定団体が、条件不利地の酪農家の生乳も**まとめて集送乳**を実施

4 販売調整力の強化

販売先の事情等により生乳を販売できなくなり、生乳廃棄が発生



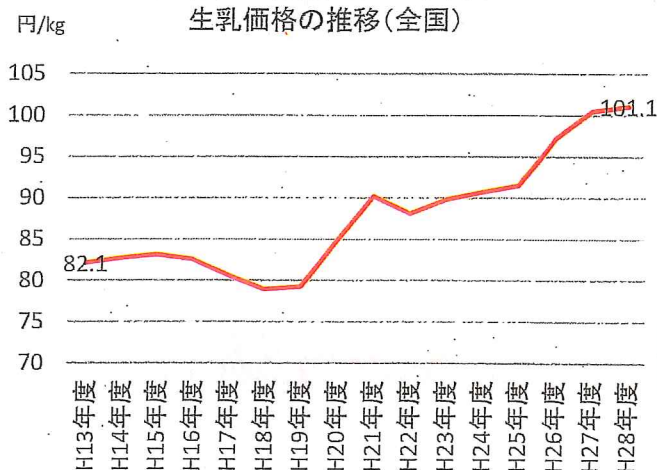
複数の販売先を持つ指定団体が販売先を調整し、**廃棄が生じないように売り切る**

■ 酪農家の方々が、毎日搾っている生乳は、貯蔵が効かず、迅速に乳業工場に配送され、加工される必要があります。しかし、牛乳の需要量(乳業工場のオーダ量)等は、日々変動し、生産量とオーダ量のミスマッチが生じます。

■ こうしたことから指定団体が各地で一元的に集荷し、多元的に乳業者に販売することを通じた需給調整や一定のロット数を背景とした取引を行うことで乳価の安定を図っています。

■ 不需求期に特定の酪農家に需給の「しわ寄せ」による大きな価格下落や廃棄等が発生しないような仕組みであり、また、地域内を「あまねく集乳する」ことで、取引条件の不利な地域の酪農家や災害発生時の取引も安定的なものとして来ています。

広域指定団体設立(H13)以降の生乳価格の推移(全国)



資料:農林水産省 牛乳乳製品課調べ